

船舶技術研究所報告（第24巻第1号）に掲載の論文等の紹介

研究論文の紹介

大型タンカーの衝突災害に関する実験的研究

翁長 一彦・土屋 正之

田中 邦彦・桐谷 伸夫

宮田 修・金子 俊男

かつて東京湾で発生した第拾雄洋丸の衝突火災事件を回想してみると、このような大型タンカーの衝突災害がどのような過程を経て発展拡大し、どのような規模になるのか、誰にも判らなかつたと言える。従って、如何なる対策を何時採ればどの位の効果があるのかという点も全く不明である。

油の拡散、燃焼等に関する理論的な知識や実験による知見を我々は若干持っているが、それらは実際の大型タンカーの災害規模を推定するためには殆んど役に立たない。その理由は、実際の現場のデータが無いこと、確率的現象の支配要素が大きいこと等にあると思われる。

本実験研究は、模型実験により災害状況を模擬再現し、実規模との相関について若干の考察を加えたものである。このような実験手法を確立できたこと、実際の災害状況の典形をパターンとして得たこと、が主な成果であり、数値的データよりもカラー写真に大きな意味があると考えられる。